

施策分析シート（平成19年度）

No1

施策名	子どもの健康づくり支援	施策No	03-04	部課名	健康部健康推進課		
				課長名	伊津野孝	内線 429	
関連部課名	子育て支援部						
行政評価事業体系	分野	子育て教育都市[]					
	政策	子育てしやすいまちの形成[03]					
目的	<p>妊娠期から就学前までの親子の健康保持・増進を目指し、乳幼児健診、各種健康講座・相談・訪問などの事業を通して、育児不安の解消と子育て支援を図る。</p>						
指標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		16年度	17年度	18年度	19年度	目標値 (28年度)	
	育児不安をもつ親の割合			19.1%	18.0%	0.0%	乳幼児健診のアンケートによる
	講座を通じて友人ができた人の割合			87.1%	90.0%	100.0%	母親学級のアンケートによる
	子育てグループ数			17団体	25団体	48団体	等を通じてグループ化された団体数
現状と課題（指標分析）	<p>核家族化がより一層進む中、親の育児不安や出産・育児環境の悪化が懸念される。こうした傾向に対応し、より効果的な子育て支援策を検討していく必要がある。</p>						
今後の方向性	[平成19年度]						
	<p>支援を必要とする事例のスクリーニング的役割を担う現在の乳幼児健診や妊産婦・新生児訪問事業等を着実に実施するとともに、関係機関との連携により効果的な育児支援策を推進していく。</p>						
	[平成20年度以降]						
	<p>育児不安等の早期発見を図るための体制を充実する。</p>						

施策の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
A	A	<p>次世代を担う子どもの健全な育成は、社会の持続的発展に欠かせない。この施策は、乳幼児期の親子の健康を保持、増進することで子どもの健全な育成の一端を担うものであることから優先度は極めて高い。</p>

施策分析シート（平成19年度）

No2

施策を構成する事務事業の分類						
事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		17年度	18年度	前年度 設定	今年度 設定	
母親学級・両親学級	07-02-15	463	439	A	A	妊娠・出産・育児を安心して行うことができる環境をつくるため欠かせない事業であり優先度は高い。
妊産婦健康診査	07-02-16	21,612	23,084	C	A	流・早産、妊娠高血圧症候群等を予防するため重要な事業である。
乳幼児健診(4か月児)	07-02-17	2,724	3,186	A	A	育児不安の解消や乳児の健全な育成のため欠かせない事業であり優先度は高い。
乳幼児健診(1歳6か月児)	07-02-18	4,725	4,878	B	B	幼児の健全な育成のため重要な事業である。
乳幼児健診(3歳児)	07-02-19	5,075	4,991	B	B	幼児の健全な育成のため重要な事業である。
乳幼児健診(6・9か月児)	07-02-20	16,049	15,907	C	C	乳児の健全な育成のため必要な事業である。
経過観察健診	07-02-21	1,411	1,379	C	C	経過観察の必要な乳幼児の早期療育に必要な事業である。
乳幼児(精密)検査	07-02-22	167	120	C	C	健診の結果、疾病や異常が疑われる乳幼児の診断、早期指導に必要な事業である。
妊産婦・新生児訪問	07-02-23	2,655	2,653	A	A	産後うつや育児不安への早期対応のため欠かせない事業であり優先度は高い。
子育てファミリー事業	07-02-24	-	-	-	A	離乳食に関する講義等により乳幼児の健全な発育を支援するための事業であり、優先度は高い。
すくすくサポート事業	07-02-25	-	-	-	A	育児困難のケースが増えてきており、虐待予防の視点からも事業の優先度は高い。
母子健康手帳交付費	07-02-28	451	422	B	B	乳幼児の健康管理のため重要な事業である。
乳幼児健康教育	07-02-31	115	104	B	D	19年度より子育てファミリー事業として再編したため廃止する。
歯科衛生費(歯科衛生相談室)	07-02-33	1,124	1,016	B	B	乳幼児の口腔保健の向上のため重要な事業である。
合 計		56,571	58,179			